

海がきたなくならないように

私は「恋はディープに」というドラマで、海がきたなくなっていることを知った。きたないのが、影郷音で

生き物まで死んでしまっているのだ。海がきたなくなっていて、しかも原因は「みだ」なせ、人は、ポイ捨てをしても、まづのたろうか。これ以上海がきたなくならないように、防ぐことは、できないのたろうか。

海がきたなくなっている原因は、プラスチックや、発泡スチロールが、1980年代と比べて、約二百倍生産されているらしい。海洋表面二ヘイホーキロメートルあたりに、浮遊するマイクロプラスチックの浮遊する量は、マイクログラフによると、瀬戸内海あたりに、浮遊する個数は、七千万個を、超える。

私たちは、プラスチックを、気づがない、うちにくさく、使っているのだ。それに、気づかない、つちに、ポイ捨てを、してしまっているのだ。「海洋プラスチックごみの排出上位国」という表によると、日本は、三十位で、推定排出量は、六万

国	排出量 (トン)
中国	1,000,000
インド	1,000,000
米国	1,000,000
日本	60,000
韓国	75,000
その他	...



トシ排出しているらしい。
海がきたなくなってしまうこと
に対して、対策をしなければ
海がもともたなくなってしまうこと
私は思う。

そうならないように、私たちが
毎日できることを考えたい。

例えば、マイボトルやエコバッグを
使ったリ、ゴミ拾いもしたらしい
と思う。

^確かに海のちかくなっているから、プロフ
スチウを使ってもいいと思う人がいる
と思う。けれども、そのままでは、海
水浴や釣りが出来なくなってしまう。
だから、海にゴミが流れるのを防ぐよう
に、私たちが出来ることも考
働
したい。